

コード	401060106
記入日	H26.6.6

課コード	116
課名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	濱口 友司

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	新魚目地区FRP漁船廃船処理対策事業
----------	--------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 25 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40106	基本事業名称	魅力ある漁村づくり	目コード	2
事務事業コード	4010601	事務事業名称	町単独事業費	細目コード	845
関連計画	法令・条例規則等			長崎県FRP漁船廃船処理対策事業費補助金実施要綱 新上五島町FRP漁船廃船処理対策事業費補助金実施要綱	

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 漁協	(対象指標1) 1組合					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	FRP漁船廃船処理実証実験 →産業廃棄物処理5隻（5～15t） →リサイクル処理2隻（船内外各1隻）	***** 補助金交付件数	***** 1件	***** 100%	***** 交付決定件数÷ 交付申請件数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	交付申請どおり決定し、補助金を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・廃船処理が必要な漁協所有のFRP漁船の処分について、リサイクル処理と産廃処分の方法について実証試験を行い、環境や費用面等での問題点を探り、本町の特性に応じた処理方法及び費用の算定資料とすることを目的としている。		***** FRP漁船廃船処理対策	***** 7隻	***** 100%	***** 実証試験隻数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	計画どおりFRP漁船の廃船処理事業を実施した。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 25 ~ H 25		24年度以前	25年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 件	1	1		1	1
	②					
成果指標	① 隻	7	7		7	7
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	3,400	1,150		3,400	1,150
直接事業費 A	千円	2,700	450		2,700	450
人件費 B	千円	700	700		700	700
内 従事職員数	人	0.1	0.1		0.1	0.1
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C 国補助金	千円					
の 県補助金	千円	2,250			2,250	
財 起 債	千円					
源 内 其 他	千円					
内 一般財源	千円	1,150	1,150		1,150	1,150

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	漁業者の高齢化や廃業に伴い、今後増加すると見られるFRP漁船の適正な廃船処理は環境・安全面や費用負担の面で深刻な問題となってくる。本町の特性に応じた適正な廃船処理の方法について、調査検討する必要があった。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	本町の地理的な特性等に応じた、適正なFRP漁船の廃船処理の方法について一定の知見が得られた。
	有 効 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	事業主体は、町の契約事務に準じて適正に事務を行い、効率よく実施できた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点 (事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	特になし。	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 (目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	目的は達成された。	
2 次 評 価	今後、大量が発生することが予想されるFRP漁船の廃船処理対策に向け、経済的・効率的な処理システムの確立を目指し、地域の現状や課題の調査・整理を行うこと。	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。